

■利用者の意見は聞くが、意思は変わらない。という感じがずっと続き、もやもやします。

■行革の嵐吹き荒れる中、全国で数多くの行政で公立保育園の民営化が進みました。後発の小金井市としては論議に当たって十分な選考事例があると言えます。にもかかわらず、この間の市側の説明・資料提示の中で、他の自治体の成功・失敗をふまえて工夫されている点を感じられないことは大変残念に思います。少なくとも担当者レベルではどのような政策執行がうまく行っているか、しっかり研究した上で運営協議会等に臨んでいただきたいです。また、途中、鈴木課長から事業者選定の具体的な話が職員組合と合意（?）、道すじができてから、との発言がありました。事業者選定やその前提となるガイドラインの策定に保護者をはじめ、市民、学識経験者らを交えるお考えはないということかと思い、非常に困惑しています。この辺りも含め、運協で議論していただきたいです。